

タイガー魔法瓶株式会社の紛争鉱物問題に対する取り組み方針

(2019年2月28日改定)

1. 調達方針

タイガー魔法瓶株式会社（以下、当社という）ではサプライチェーンのあらゆる段階において、倫理、社会、環境に配慮し、さまざまな施策を推進しています。

その一環として、特に製品の製造に使用する材料や構成部品に含まれる鉱物資源が、社会的な影響を及ぼしていないかどうかサプライチェーンで確認を行い、懸念鉱物がある場合には、不使用に向けた取り組みを推進しています。

世界の一部地域において武装勢力による非人道的行為が行われており、近年ますます国際社会で問題視されてきています。

特に、アフリカ大陸中央部のコンゴ民主共和国では、豊富な鉱物資源の違法採掘・密輸が武装勢力の資金源になっています。

これを受け、米国金融規制改革法において、企業の責任が明示されました。

当社は、こうした紛争地域における非人道的行為や環境破壊、不正採掘等の問題、それらに関与する武装勢力の資金源となる紛争鉱物問題を企業の重要課題と位置づけ、紛争鉱物問題への取り組みに関する指針として本方針を規定し対応を進めています。

2. 紛争鉱物対応方針

当社は、

- 1) 「倫理、環境等の社会問題の原因となる原材料の使用」による地域社会への影響を踏まえて調達活動を行っていきます。
- 2) コンゴ周辺諸国産の紛争鉱物問題は、重大な社会問題の一つと認識しています。
当社は、コンゴ周辺諸国産の人権侵害等の不正とかかわる紛争鉱物を原材料として使用しない製品を目指します。
- 3) そのために、紛争鉱物の使用状況について、グローバルにサプライチェーンを遡って調査を実施し、社会問題を引き起こす、あるいは、武装勢力の資金源になっている懸念のある場合には、使用回避に向け取り組みを実施します。
- 4) 取引先には、共存共栄の理念のもと信頼に基づく相互関係を築き、当社の考えを理解いただくとともに、社会倫理に適合した資源・原材料の調達活動に取り組んでいただくよう要請していきます。

3. 今後の取り組み

当社は、コンゴ周辺諸国産の人権侵害等の不正にかかわる紛争鉱物を原材料として使用しないコンフリクトフリーを目指し、第一次サプライヤーの皆様とともに、取り組んでいきます。

製錬業者情報の収集や、調査、および評価の実施に向けた環境の整備も重要であると考え、業界団体・各種参加団体との連携も推進していきます。

以上